

尖閣諸島領海警備

若手の頃の陸上勤務で尖閣周辺海域に姿を見せるは、どちらかという救難 ようになり、翌23（2011）年8月には中国公船2隻が領海侵入する事案が発生し、警備関係部署に配置 生じます。本庁警備課長とされたことが多くなりまし ました。そして、最も多く関わ ることになったのが、尖閣 諸島の領海警備に関連する 事案です。

尖閣諸島領海内での中国 漁船による巡視船艇への衝 突事件が発生した直後の平 成22（2010）年10月、 本庁警備課の領海警備対策 官に着任しましたが、その 頃から、中国公船が頻繁に

尖閣周辺海域に姿を見せる ようになり、翌23（2011）年8月には中国公船2隻が領海侵入する事案が発生し、警備関係部署に配置 生じます。本庁警備課長とされたことが多くなりまし ました。そして、最も多く関わ ることになったのが、尖閣 諸島の領海警備に関連する 事案です。

尖閣対応体制の一層の強化を

長時代の平成28（2016）年8月5、7、8日及

び9日には多数の中国漁船に続く形で中国公船が延べ

程度を高めているようにも 見えます。そのようなきつ

の維持に注力すべき海上保 安機関の船舶が多数特定の 海域で対峙している現状は

28隻領海侵入す る事案が発生し

ます。この時、 尖閣諸島周辺の 接続水域には過

極めて異常で残念なことだ とは言え、領土・領域 に対する力による現状変更 の試みに決して屈すること

去最大の15隻も の中国公船が確

認されました。 そして、それ以

の現場で、忍耐強く冷静か つ毅然と対応する現場のご 苦労には頭が下がります。

降、来航する中 国公船の隻数は

3隻から4隻に 増えていきます。

相手の勢力を常に上回 り、いかなる事態にも的確 に対応することができると

中国は、何ら かの事象をきつ

が直ちに警告できたのも、 そのような事態も想定して

望まれるところです。

海域での侵害の

本来、海上の安全や治安

（第45代海上保安庁長官）

魚釣島沖で警戒監視中の巡視船

